

家庭で取り組んでいる地球温暖化対策

～我が家のコツコツ自慢～

これまで、コツコツプラン参加者がメニュー以外に行っていた取組を掲載しています。環境に配慮した行動の一例として、御参考にしてください。

エコワットを使用し、各電化製品の電気使用量を調査、認識するとともに、削減効果の大きい電化製品から優先した省電力対策に取り組めます。

職場には水筒を持っていくようにして、ペットボトルの飲み物はできるだけ買わないようにしています。

生ごみはコンポストで処理しているので、25年以上出したことがありません。

雨水タンクを3か所設け、庭、植木の散水に利用しています（2つは自作）

「里山をよみがえらせる会」に参加しています。

庭や周りの草、落ち葉等は堆肥化して市民農園で使用しています。

太陽熱温水器はもう3代目です。冬でも晴天の日はお湯を沸かす必要がありません。

シャワーを使用する時、初めの冷水をバケツにとって、洗濯、洗車、庭の水やりなど他の用途に使用しています。

室内に排気用の換気扇をつけ、窓からの空気で室内温度を下げるようにした結果、夏のエアコン使用時間は約6h/日⇒2h/日になりました。

皆でひとつの部屋に集まるようにして電気をムダに使わないようにしています。

30年近く使用していなかった井戸を再生し、井戸水を散水や洗車などに利用しています。

エアコンの室外機から出る水を利用して植物の水やりに使っています。

除湿器に溜まった水を植物にあげています。

家にいる時は、紙おむつではなく布おむつを使うようにしています。

寝苦しい夜はクーラーを使わずにアイスノンで頭を冷やして寝ます。

運動会やピクニックなどのお弁当箱はお菓子の箱やケーキの箱で代用しています。

節水用のシャワーヘッドに取替え、無駄な水をカットしています。

カレーやシチューなどの煮込み料理は底が厚手の鍋や土鍋で調理し、新聞紙→バスタオル→毛布と3重にくるみ保温しておく。2～3時間は冷めないなので温めなおす必要がありません。

剪定樹木をチップ化し、コンポストを使用して堆肥化し再利用しています。

鍋で水を沸かすとき、フタの代わりに水をたっぷり入れたやかんを乗せ、まとめて沸かしています。

お風呂のお湯をペットボトルに入れ、湯たんぽの代わりにしています。

感熱紙などのリサイクルできない紙ゴミは、油やソースのついている食器をふき取ってから洗うのに使っています。

新聞紙を水で湿らせて小さく切り、床や畳に撒きます。その新聞紙をほうきで掃くと、ゴミやホコリも一緒に取れます。

野菜や果物などが入っているネットを排水溝に設置し、ゴミや髪の毛などが流れないように再利用しています。

根菜類は皮を剥いてから洗えば、ゴミの水分量が減ります。また、葉物野菜はアクの少ないものから茹で、同じお湯を使いまわします。

雨の日にスーパーやデパートに置いてある傘の袋は新品を使わず、回収用の箱から使用済みのものを再利用しています。